

政務活動実施報告書

令和7年4月3日

村上市議会議長 三田 敏秋 様

議員名

長谷川 孝



私は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

用 務 名	先進地視察（加茂コミュニティ防災センター建設に関する要点について、北前船寄港地・船主集落 日本遺産に向けた取組について）
実 施 日 時	令和6年7月30日（火） 午前 8時00分 ～ 午後 8時00分 ～
用 務 先	山形県鶴岡市
参 加 議 員 名	※同行議員がある場合記入すること。 魚野ルミ、佐藤憲昭、野村美佐子、上村正朗、菅井晋一、富樫雅男 小杉武仁、河村幸雄、渡辺 昌、尾形修平、鈴木いせ子、川村敏晴 姫路 敏、長谷川孝、三田敏秋
全体参加者数	※同行議員がある場合記入すること。 15 名
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙のとおり
備 考	



政務活動実施報告書

議員名 長谷川 孝

概要及び所見	令和6年7月30日（火）に議員有志15名（市職員6名）で北前船日本遺産認定の先進地である山形県鶴岡市加茂地区に視察に行ってきました。 【加茂コミュニティ防災センター建設にかかる要点について】 加茂地区は令和元年に発生した山形県沖地震を目の当たりにし、コミュニティセンターが災害時の拠点として機能することの重要性から、津波浸水域内にあった旧コミュニティセンターを令和4年9月1日に津波浸水域外にある旧加茂中学校跡地に移転オープンしたことから、本市総務課の所管職員も同行して説明を受けることとなりました。 移転にかかった事業費は4億7千3百万円で、そのうちの約2億2千5百万円は国交省の都市防災総合推進事業（防災・安全交付金）（補助率2分の1）を活用したとのことでした。当該施設は駐車場も約120台分整備され、非常に最先端の建物ですが、本市の海岸沿いの集落には同様の避難スペースがないことを考えると、有事の際の徹底した避難行動を考える必要があるのではと感じたところです。 【北前船寄港地・船主集落 日本遺産に向けた取組について】 次に視察の本題である北前船文化遺産の先進地としての鶴岡市加茂地区の状況を視察させていただきました。加茂地区を中心に構成文化財が残っていることから、現地の観光ボランティアの案内のもと町並みを見て回ることができました。加茂地区には北前船で財を成した廻船問屋が現存していますが、残念ながら公開はしていませんでした。 しかし、神社や寺には北前船の歴史を感じる文化財が随所に見られ、特に加茂湊から山を越えると鶴岡の中心地や出羽三山への近道であることから、米沢・小国方面からの出羽三山参りへは岩船湊から船で加茂湊への海路が存在したのではないかと推測されます。 鶴岡市の北前船構成文化財は、加茂地区周辺の町並みや廻船問屋住宅母屋に加え、善宝寺五百羅漢堂・致道博物館所蔵の北前船関連資料群があり、どちらかと言ったらコンパクトにまとまっているように思いました。 それに比べると本市の場合、海岸線が50キロに及んでいることからどのように価値を見出すか知恵が必要です。
備 考	